

東はりま甲南会報

第1号

〈発行〉

平成10年4月22日

会長ごあいさつ



東播磨甲南会
会長 森 滋郎

此の度、東播磨甲南会創立六年を記念して会報をつくることになり、何かコメントを書くようにと言われ、思い出すままに何か書いてみることにしました。御笑覧下さい。私が甲南中学に入学したのは、昭和三年でした。その頃は国道に電車が走っており、大石より住吉までそれに乗り、住吉から歩きしました。魚崎まで乗れば随分近いのですが、一区間割高になるので住吉で降りていました。何分寝坊で、いつもギリギリで、住吉から坂道を毎日マラソンの様に走ったものでした。友高林の所で予鈴のサイレンを聞くと、やっと間に合った、と喜んだものでした。同級生は40人位でしたが、7年間ずーと一緒です。ごした友人は4分の3位で、あとは入れかわったメンバーでした。つまり甲南は欠点の一つでもあれば留年、2年留年で退学という酷しい制度で同級生が留年し上級生が上より降りてきて、大体40名位のクラスでした。私は、剣道部に入りました。野田先生の御指導でなかなか面をつけさせてもらえず、竹刀を構え、まえ あと面 まえ あと 小手と人形相手の基本動作ばかりで、早く試合がしたいと思ったものでした。当時より、甲南の子は姿勢がよいと言われてい

たのもこんな訓練のたまものだったのでしょうか。又、今から考えると、甲南の教授陣は、とつても立派な方ばかりでした。私等が、カマキリと呼んでいた。菅原先生は、実は国文学の有名な学者さんでしたし、ゾロクと呼んでいた数学の藤岡先生も本当に立派な数学者でした。あとでわかりおどろいた次第でした。又、伏見先生は、手づから入ってきて、生徒のリクエストで、今日は京都の祭りの話、今日は名古屋の地理の話、と何んの参考書もなく話をされ、時のたつのを忘れる楽しい話の間にいろいろ教ったものでした。又、私達3人、滝井、黒川、森が阪大を志望していること知って、在阪大の先輩、立石さん、田村さんが補習に来てくださり、阪大の問題の傾向や、問題をつくる教授の話などしてくれて力になりました。立石さんは平生理事長のおめがねにかなった方で、苦学し乍ら、東大理学部、阪大医学部を卒業され、布施内科におられた方ですが、私達が丸暗記していた公式を、理論的につくり出す、すばらしい頭脳の方でしたが、惜しい事に早く亡くなりました。

このように先輩が本当によく後輩を指導されたことを今でも感謝しております。私は出征のため、後妻のお役に立ちませんでした。

私の同級生には、関君、桜井君、奥村君等、国立や地方大学の教授や、吉田君、高橋君等、川重の重役や神戸製鋼の社長もいました。

今から思えば、甲南の七年制が、ガリ勉を防ぎ、本来の素質を伸ばせたのではなかったかと思っております。私も微力ながら今後も甲南に恩がえしをしなければと覚悟しております。以上思いつくまま述べて戴きました。

理事長ごあいさつ



学校法人甲南学園
理事長 中西 典彦

「東播磨甲南会の皆様へ」

この度、小川前理事長の後任として、甲南学園理事長を拝命することになり、その重責に心引きしめる思いであります。二、三年間、小川前理事長と緒に大震災前後の大学運営に携わってきまして私はつねづね、そのタフな精神力とまことに時を得た行動力には強い感銘を受けておりました。経営の経験もなく、また能力も乏しい私ですが、「これからの大学は教育の質、つまり中味が問われる時代だ、教学の思い切った改革、前進を支えるのが理事会の役目である」との小川前理事長の言葉に励まされ、粉骨砕身の所存であります。

OB、OGの皆様より暖かい、しかも厳しいご支援と叱咤をお願い致します。また、阪神大震災よりの復興事業には皆様から多大のご援助を頂戴し、震災後2年にして新1、2、3号館が竣工、素晴らしいキャンパスに生まれ変わることができました。ここに厚く御礼申し上げます。

ご存知のように、我が甲南大学は、1951年文理学部より出発し、今日までの47年間に5つの学部と3つの大学院研究科を擁するまでになりました。現在は、学部は約10,000人、大学院は約2,000人の学生、院生達が学んでいます。二、三年カリキュラムの多様化、マルチメディア教育などを始め、時代の要求を踏まえた歩みが続けています。文学部は、既存の3学科(日本語

日本文学、英語英米文学、社会学科)に加え、震災後直ちに人間科学科を開設し、現在は大学院「人間科学専攻」の申請準備を進めています。理学部でも純粋理学のほかに応用科学分野(応用物理学、応用化学、応用数学)の増設に加え、最近では自然科学研究科において、情報・システム科学専攻も増設されました。今後は、日本の科学技術振興政策にも対応すべく、学科の統合と教育・研究の活性化への更なる進展を旨として鋭意努力中であります。平成6年度から発足しました法学部「経営法学科」もおかげをもちまして今年には卒業生を送り出すことが出来ました。

今日、世界は物質文明から情報文明へと大きく変わりつつあります。情報科学の進歩は目覚ましく、今や子供達もインターネットで世界の友達と語り合う時代です。我々は、これらの波を新たな「情報文明」として捕え、情報化に対応した社会の新しい構造の在り方、また、それが人間の心に、ひいては文明全体にどのような影響を及ぼすものか、などの問題を、新しい学部あるいは学科を設けて研究し、さらに教育へ反映させる必要があると考えております。以上の外に、現在5つのセンター(広域副専攻センター、国際言語文化センター、情報教育研究センター、国際交流センター、カウゼリセンター)と、総合研究所を擁し、それぞれ活発な活動がなされていきます。

甲南中学・高等学校に3年前から導入された「理数コース」を刺激剤として、甲南中・高の実力は最近ぐんぐんと上昇しております。まさに嬉しいことです。

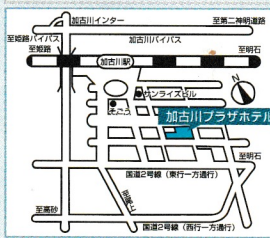
甲南学園は、中学高校そして大学へと貫いた教育理念(徳育・体育・知育による個性尊重)を掲げ、その歩みは創立80周年(来年)を迎えようとしています。時もあたかも21世紀を目前にし、さらなる飛躍が期待されます。今こそ、皆様と共に希望の光をかがけて歩みたいと願っています。

第6回 懇親会 の案内

とき：平成10年5月23日(土)
午後4時(受付開始)
場所：加古川プラザホテル2階(加古川駅南)
TEL 0794・211・8877

1部 総会(4:30pm)
2部 講演会(5:15pm)
テーマ 医療における「インフォームドコンセント」
講師 居村 茂明氏(理学部31年度医進課程修了)
3部 懇親会(6:00pm)
会費(臨時会費) 5,000円

※欠・欠確認の回答用葉書は経費節減のため同封いたしておりません。出席の方は振込用紙にて5月9日までに必ず入金下さい。



東播磨・甲南会・設立にあたって

第1回総会（平成五年二月二十八日）



◆これまでの歩み◆

- H4. 11. 28 設立準備会（加古川商工会議所）
会の名称を東播磨甲南会とする
- H5. 2. 28 設立総会（加古川プラザホテル）
来賓・会員100名が出席
- H5. 7. 8 第1回ゴルフコンペ（加古川ゴルフクラブ）
- H6. 3. 27 第2回ゴルフコンペ（加古川ゴルフクラブ）
第2回総会・懇親会（加古川倶楽部）
- H6. 10. 23 京都グルメの旅（上木屋町料亭松松）
- H7. 3. 26 第3回総会・懇親会（加古川プラザホテル）
- H7. 8. 10 会員全員へ甲南学園震災復興基金に協力要請文を送付
- H7. 11 会員全員へ甲南学園震災復興基金の追加協力要請文を送付
- H8. 3. 31 第4回総会・懇親会（加古川プラザホテル）
甲南学園震災復興基金へ協力を総会で承認。
懇親会では復興基金へカンパを実施
- H8. 4. 25 甲南学園震災復興基金へカンパ（26,800円）と合わせて
20万円を寄附
- H9. 5. 22 ゲスト（講師）に猪野瀬久美恵助教授（甲南大学文学部）
を迎え、創立5周年総会・懇親会開催
- H9. 12. 26 創立5周年記念会員名簿発行。

東播磨甲南会は、卒業生相互の親睦を図り、甲南ファミリーのネットワークを拡げると共に、「個性と自由」を尊重するおらかな甲南カラーを守り継承することを目的として、平成五年二月二十八日に百六十六名の参加を得て発足しました。会員相互・母校と会員のきずなを深めるため、試行錯誤を繰り返してまいりましたが、平成七年一月十七日の阪神大震災によって母校が被災し、存続の危機に立たされ、これを機に母校復興のための取り組みに協力することができ、母校とのきずなを深める結果となりました。また、東播磨甲南会結成を機に、東播磨地域の早稲田・関大・関学・同志社・神戸商大・立命館の同窓会と共に七同窓会を集結する播磨大窓会を結成し、相互親睦を深めてまいりました。

これまでの歩みは次のとおりです。

発足当時、東播磨地域（加古川市・高砂市・稲美町・播磨町）には、一〇〇〇名の甲南OB・OGが在住されていましたが、平成十年には一五〇〇名と在住されている方の数が増えています。今回の機関紙発行を機会に、もっと東播磨地域に在住する甲南OB・OGのネットワークを拡げていこうと思

います。

甲南で青春時代を過ごし、同じ東播磨で住むことになったのも何かの縁、まだ未加入の方はこれを機会にご入会下さい。特に女性会員はまだ少数ですので、入会を大歓迎いたします。



◆役員名簿

会 長	森 滋郎	旧理10
副 会 長	丸山 滋夫	S36文
	高橋 佳男	S36経
	塩谷 直樹	S39営
	中川 智章	S39法
	籠谷 義紘	S40営
	大庫 良一	S54経
	貴傳名光昭	S63営
	前田 直	H1営
幹 事 長	三宅 隆宏	S41営
副幹事長	大庫 俊介	S46文
	中尾 知也	S50法
	滝川 恵吾	S52経
	岸本 明広	S58法
会 計	石川 晴雄	S48経

◆卒業生次別会員構成

卒業年次	旧制高	S31~40	S41~50	S51~60	S61~H6	計
旧制高	3	—	—	—	—	3
医 進	—	2	—	—	—	2
理	—	3	7	7	7 (3)	24 (3)
文	—	3	5 (3)	11 (10)	1	20 (13)
経	—	10	15	14	5	44
法	—	2	18 (1)	8	7	35 (1)
営	—	3	19	12 (1)	14 (3)	48 (4)
	3	23	64 (4)	52 (11)	34 (6)	176 (21)

◆会員分布

加古川市	高砂市	稲美町	播磨町	神戸市	姫路市	明石市	尼崎市	洲本市	滝野町	大阪市	枚方市	岡崎市	富山市	北九州市
105	30	14	4	9	3	3	1	1	1	1	1	1	1	1

※平成10年3月1日現在。()は女性(再掲)



第6回総会・懇親会

◆とき 平成10年5月23日(土)午後4時(受付開始)

◆場所 加古川プラザホテル2階(加古川駅南)

TEL 0794-21-8877

1部 総会 (4:30pm)
2部 講演会 (5:15pm)

テーマ 医療における「インフォームドコンセント」

講師 居村 茂明氏(理学部31年度医進課程修了)

◆会 費(臨時会費) 5,000円
3部 懇親会 (6:00pm)

※出・欠確認の回答用葉書は経費節減のため同封いたしておりません。出席の方は振込用紙にて5月9日までに必ず入金下さい。

居村 茂明氏 略歴

31年 理学部医学進学課程修了
兵庫県立神戸医科大学入学
35年 同 卒業
36年 神戸医科大学整形外科入局
39年 メイヨクリニック フェロー
43年 神戸大学 助手
45年 国立加古川療養所 整形外科
62年 国立加古川病院 院長

趣味:雑多

※インフォームド コンセント
説明と同意・情報提供を充分行い、患者自身に種々の選択をゆだねること
……一般には「癌の告知の是非」等の
論議の中で提起された。

「損する話」

加古川プラザホテル 小川 和宏
36年 経済学部卒業



「損して得とれ」とは商売上よくいわれることですが「得」をとりそこねた話。

私が当ホテルにお世話になって5年、大過なく経過しましたが、ホテル業は「損」をすることがあっても「得」をすることは少ないことがよくわかりました。その一例。某有名(故人)がラウンジで朝からビールと景気のいい注文。たまたま隣席におられたお客様に、ウエイターを呼ば「隣のお客にビールを出してやって」との注文。売上げがあがったと思いきやその某有名「おれが飲んだ訳やない隣の客から代金もらえや」と、そんなアホな！とホテル業ってこんな商売ですワ。

会員エッセー

鯛、鯉、シマ鯛、メジロ、
ヒラマサは如きがですか?

大西 信良 42年 経営学部卒業

威勢のいい魚屋さん?の声を誘われて昨年の11月の日曜日、友人のモーターボートで日生から小豆島へ大名釣りに出発。20メートル平方の網の中を釣ることはもちろん泳いでいることもめったに見る事が少ない魚を集めた海の釣り堀へ、1人1本の竿で目的に合った「鯛」をつけてヨイドンでAM8:00にスタート。(制限時間は4時間、一つの堀で約20名釣れるは、釣れるは……ヒラマサ2尾 タイ5尾 シマアジ1尾 etc……隣の人が……(悔しい)わずか1メートル程しか離れていないのに何故?小生はボウズに終る。

釣れなかった人には鯛1尾プレゼントあり(もちろん家では手応えをオーバーに話す)同じ場所何故?桜鯛までには腕をみがいて魚屋さんに挑戦だ!!

以上

私のハーフマラソン

三宅 隆宏 41年 経営学部卒業

3/19(日)明石海峡大橋完成記念「ハーフマラソン」を走ってきました。非常に辛かったです。タイムは2H45M32。内容もボロボロ、帰路JR加古川駅の階段降りられない。歯をくいしばって1歩1歩すりすりを持って横歩き、誰かに見られてるかどうか余念なんかりません。

2ヶ月前、テニスの最中、右太股の肉はなれ、それ以来早朝ジョギング中止。前日まで参加するかどうか悩んでいたが参加料の5,000円がもったいないのと、制限時間3時間30分なら何とかなる。いつものいいかげんさで勝負。

残り7キロ、暑くてのどは乾くし、呼吸は乱れてくるし、腹は減るし、両手はしびれてくる。足が上からず前へ進まなくなり最悪の状態に、残り4キロ時点で歩いてしまった。幾度も脇に外れ、明石大橋の上で屈伸をしてから走り出すのだが、せいぜい200m。苦しくて走れない。周りのランナーはお祭り気分。カメラを撮ったり、走るのを止め和やかに余裕を持つマラソンを楽しみ、話しながら歩いている。それに比べこっちは……、やはりハーフは生半可の練習では「まかしがきかない」。

しかし、最後は笑顔を作って、走ってかつ「良く(?)」ゴール。しんどかったです。

三宮にて

中川 智章 39年 法学部卒業

昭和36年の秋のことだった。私の友人A君は美人のガールフレンドB女とC女の二人と交際中であつた。そこでA君はB女とデートの約束をして今週の日曜午前10時「キャラバン」で会うこととなつた。他方A君はC女ともデートすることとし、今月の二十日「キャラバン」で十時に会う約束をした。ところが、A君は今週の日曜日が今月の二十日であることに気づかなかつた。当日A君はB・Cの二人にふられたことは言うまでもない。

「でか」だ逃げる!!

大学祭目前の十一月上旬のことだった。私はクラブ「法研」の寺脇君と梅本君の二人で大学から駅へ歩いていった。すると前方からでかだ逃げる!!と息をはすませ靴を片手に素足でこちらに走ってくる者があつた。見ると経営学部のS君だ。どうしたのか尋ねると「手入れ」と言ったのみ走り去つた。私達三人はそんなに逃げなくても刑法185条の但書があるではないかと顔を見合わせるのであつた。

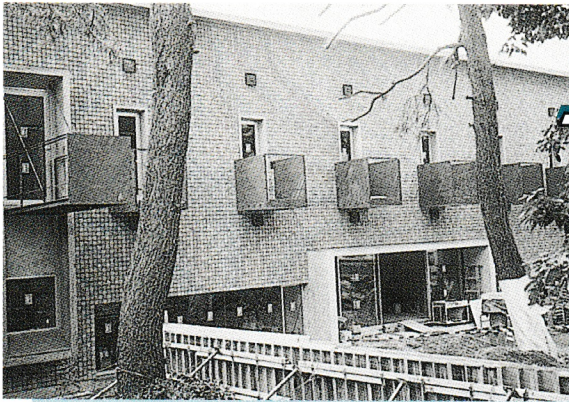
「甲南学園について」

大庫 俊介 46年 文学部卒業

小生にとつての甲南学園とは、昭和42年からの4年間を大学生として過ごしたなつかしい場所ですが、今大学とのつながりは二つあり、二つはゼミの仲間約10名との年一度の集まりです。最初の頃は2泊3日の旅行で結婚、出産を重ねるうち最盛期には、30名ほどにもなっていました。それが最近では子供たちが外れて行き、またもとの姿に戻りつつあります。

もう一つは、入学した年に出来たばかりの「陶芸研究会」というクラブで仲の良かった連中が集まり、1月3日から4日に掛けて1泊2日でする新年会で、これも最初の頃は10数名が集まっていたのですが、最近では4・5名が集まるのがやっとで麻雀のメンツ集めに苦労していますがいまさら止められないので皆必死になつて楽しんでます。

いずれの集まりも、20数年の経過の中で、年のせいか昔話することが多くなつてきた今日この頃です。



平生記念セミナーハウス 完成!

3月14日●竣工披露

平生記念セミナーハウス

東灘区住吉本町の平生記念館（本年度同窓会館）南側敷地（2,647.76平方メートル）に建設がすすめられていた甲南大学平生記念セミナーハウスが完成。3月14日には、関係者を招いて、建設地で竣工披露が行われました。

竣工した平生記念セミナーハウスは、鉄筋コンクリート造り2階建て、延床面積は1,926.50平方メートル（582.77坪）で、1階は、32人程度収容できるセミナー室3室、260余人を収容する視聴覚講義室とホワイエ、2階は50人程度が泊まることができる宿泊室が用意されている。地下1階は、21台が収容できる駐車場になる。設計・施工は株式会社竹中工務店が担当。昨年3月12日に地鎮祭を行い、工事期間1年を要して完成となりました。

同ハウスを使用できる対象は大学学生と中高生、教職員など関係者で、演習、語学等のクラス単位の正課授業や文化、体育活動、研修などの場として利用できることになる。

平生記念セミナーハウスの名称は、学園を興した平生鈇三郎（ひらおはちさぶろう）から命名されたもので、建設地は平生のゆかりの地でもある。

訃報

物故者は次のとおりです。

関 猛	(S 40理)
山本 武	(S 40医)
橋本 明俊	(S 46法)
浅野 修志	(H 2法)

慎んで
お悔やみ申しあげます。

入会のご案内

当会は会員の方々の入会金（終身会費1万円）と臨時会費（行事開催の都度徴収で運営し、毎年総会で決算報告いたします）。

入会金は主に今後の当会の運営のための費用として蓄積し、臨時会費は行事開催毎に参加費として頂いています。

入会を希望される方は5月9日までに同封の振込用紙に必要事項をご記入の上お申し込み下さい。（※総会当日、会場でも入会申し込みを受け付けます）

〒675-0012

加古川市野口町野口118

共立サービス 三宅 隆宏様 気付

東播磨甲南会

TEL0794-26-0090

FAX0794-21-5771

編集後記

平成10年、4月。花粉症に悩まされながら、なみだ目をこすり、こすり会報の編集をお手伝いさせて頂きました。初めての会報だけに、少しでも楽しいものにといい思いだけが強く、できあがってみると、最初に考えていたようなものとは少し違うような？

次回は会員のみならずのご意見を参考に、より楽しい会報へとステップアップを目指しますので、ご指導よろしくお願い致します。

A・K